

大切にしたいこと

岩手県立二関第一高等学校附属中学校

一年

杉澤

洋平

僕の通う学校の総合的な学習の時間は「高
志タイム」と呼ばれている。僕はこの「高志
」という言葉が好きだ。志を高くもち、負けず
にやり通せと励まされているような気持ちに
なるからだ。今年の夏休み、この高志バタイム
の宿題に「人物調べ」があつた。自分が調
べたい人物を一人決め、図書館の本の中から
何冊か選び、その人物の生き方やそこから自

2

分が考えたことをレポートにまとめるとい
うものだ。僕はどの人物にしようか迷つた結果、
野口英世を選んだ。なぜなら、幼い頃の怪我
で手が不自由になつた逆境にも負けず、医学
の研究に突き進み、黄熱病という当時は未知
であつた病気のワクチクを研究し、多くの人
々を救つた偉人だからだ。僕は、将来医師に
なりたいと思つている。英世のように困難に
負けず、人の役に立ちたいと思つたからだ。
これからたくさん人の経験をみていく中で、他

の職業にも興味をもつかも知れない。しかし、
 どんな職業に就いたとしても大切にしたい二
 つのことがある。
 一つ目は、継続することだ。継続は力な
 り、という言葉をよく耳にする。誰かが分か
 っているだろう。僕も分かっているが、
 実行するのは難しいと日々実感する。疲れて
 何もしたくない日もあれば、面倒だから後回
 しにしてしまいうことも多くある。うまくいか
 ないことや困難なことにぶつかると、いいい
 らして言葉がきつくなったり、途中で投げ出
 したりしてしまいうこともある。そういうとき
 によく思い出すのは、ピアノの先生の言葉だ。
 ピアニストになるためだけにピアノを練習す
 るのでははない。ピアノを通して、毎日少し
 ずつの努力を積み重ねることの大切さを学ん
 でほしい。
 という言葉だ。ピアノの練習は孤独だ。楽譜
 を読んで理解し、いざ弾こうとしても思っ
 たように指が動かさず、何度やってもうまく
 いか

ない。嫌になっ て練習をやめたくなることも
ある。しかし、やらなければ弾けるようには
ならない。うまくいかない苛立ちを乗り越え、
一曲通して弾けるようになった。達成感がとて
も好きだ。今は、親や先生、友達など周囲の
人に励まされ木見守らねながら成長できている。
これから大人になるには、周りの人に励まされ
れなくても、自分で自分を励ましながらか、決
めたことを最後までやり遂げる人になりたい
と思う。

ニフ目は、相手を知らうとする姿勢をもつ
ことだ。これからの社会は、多様性の時代と
いうことをよく見聞させる。多様性という言
葉を自分の都合の良いように解釈して、常識
やルールにはまっ ていなくても受け入れて当
然だとか、何でもありというわがままだと勘
違いしている人も多い。まっ た、多様
性の社会は、ルールや常識を守り、た上で、他
人から許容範囲として受け入れられる自由の
幅だと僕は考えている。皆と同意であること

だけを良しとするのではなく、これからは皆
 と違っていては良し。ただし、他人に迷惑を
 かけたり、不快な思いをさせない範囲ならば。
 インターネットが普及し、いろんな情報をす
 ぐに調べることができる。SNSなどで情報
 を発信し、他者と簡単にコミュニケーション
 を取ることまでできる。インターネットは便利
 だが、そこにある情報はすべて正しいとは限
 らない。SNSを通じた犯罪をニュースで見
 ると驚かされるようなものも数多くある。自
 分の考える当たり前が相手にとっての当た
 り前ではないといふことがよく分かる。自分
 の尺度だけで物事を考え見ていると知らないう
 ちに他人を傷つけてしまふこともある。これ
 までは以上に、相手の立場や考え方に耳を傾け、
 理解しようとする姿勢や想像力が必要になる
 と思う。
 中学生になり、もうすぐ五か月になる。
 逃げずばやまじ。
 入学式で校長先生が話していた言葉だ。僕は

